

平成27年度 入札監視委員会審議概要

中国四国防衛局

開催日及び場所	平成27年6月23日(火) 広島合同庁舎4号館 会議室
委員	神野 智文(委員長/前財団法人客員研究員) 森嶋 久雄(不動産鑑定士) 藤井 堅(大学院教授) 爲末 和政(弁護士) 伊藤 博文(税理士) 以上5名

I 地方防衛局等が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成27年1月1日 ~ 平成27年2月28日		
審議対象件数	83件		
1. 入札状況について(参加資格の設定、指名及び落札決定の経緯等について)			
抽出件数	11件	(審議概要) 「抽出案件」 ・建設工事 ・建設コンサルタント業務等 「報告事項」 ・低入札事案について ・不調事案について ・指名停止等の措置状況について	
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)		2件
	一般競争(政府調達協定対象外)		6件
	公募型指名競争		0件
	指名競争		0件
	随意契約		0件
建設コンサルタント業務等	3件		
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【抽出案件】 ○建設工事(政府調達協定対象) 【一般競争入札】 《岩国飛行場(H26)愛宕山地区法面整備工事》 ・落札した業者以外の10者が無効となっているが、なぜ無効となったのか。 ・入札・契約状況調書では入札額が分からないが、調査基準価格との差はどの程度だったのか。 ・11者中10者が無効となることは良くあることか。 ・なぜこのようなことになったと考えるか、また、予定価格は適正だったのか。	・施工体制確認の為、書類の提出を求めたところ、10者とも応じなかったため無効とした。 ・最低の価格で入札した者と調査基準価格との差は最大5.8%の差だった。 ・施工体制確認に応じずに無効になる事は頻繁にあるが、今回のように11者中10者が基準価格を下回り無効となることは珍しいケースである。 ・工事項目も少ない単純な作業の工事である事から予定価格に近い額の算出が可能であったため、各者調査基準価格ギリギリを狙って入札したもののわずかに下回ってしまったのではないかと思われる。	

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>【一般競争入札】 《岩国飛行場（H26）低層住宅（6工区）新設建築工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11工区、12工区は複数者入札であるが6工区が1者入札となった理由は何か。 ・同じ低層住宅の建築工事で政府調達協定対象となっているものと、対象外となっている工区の違いは何か。 ・地元企業を活用したJV発注方式という事であるが、結果はどうであったか。 <p>（政府調達協定対象外） 【一般競争入札】 《岩国飛行場（H26）低層住宅（20～23工区）新設電気その他工事 《岩国飛行場（H26）低層住宅（6～10工区）新設機械工事 《岩国飛行場（H26）低層住宅（4工区）新設建築工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩国飛行場（H26）低層住宅電気その他、機械、建築各工事については工区を分けて発注しているので、入札方式等について確認したい。 ・一括審査方式は国と業者どちらにメリットがあるのか。 	<p>11者中10者が無効となる状況だったため、積算について検証したが、予定価格は適正であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11工区及び12工区は同じ規格の建物の建築を複数棟行う工事であるが、6工区については規格の異なる2種類の建物の建築を複数棟行う工事である。更に住宅エリア全体の仮囲い等の工事用仮設を行う事となっており、工事の複雑さから敬遠されたものと考えられる。 ・建築工事については、建物の規格や施工性等の観点から、23工区に分けたところであるが、6・11・12工区については概算金額が6億以上であるため政府調達協定対象案件となったものである。 残りの20工区分については、概算金額が6億円未満の比較的小規模な工事であり、地元企業を活用したJV発注方式としている。 ・すべてではないが、多くの工事を地元企業関連の参加者が受注している。 <p>・本案件については、「一括審査方式」の試行事案として発注したものである。 （一括審査方式について、目的と制度の概要を説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・双方にメリットがある。 従来は10工区の入札に参加しようとするならば、参加者は10個の技術資料を提出しなければならなかったが、参加資格要件等を共通化しているため、1つの資料で済む。また発注者側も技術審査・評価を一括して実施するので、双方の事務手続きの負担軽減が図れるとともに、迅速かつ円滑な予算執

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・業者としてはどれか1つは受注できるということになるのか。</p> <p>・参加する業者の数により受注できたり、できなかったりするということか。</p> <p>・同グループで複数の受注はできないのか。</p> <p>・一括審査方式の入札は1グループ毎に同時に札入れを行うということか。1件ずつ別々に札入れを行うのか。</p> <p>【一般競争入札】 《見島（26）敷地造成等土木 その他工事》</p> <p>【一般競争入札】 《見島（26）土木その他工事 監理業務》（建設コンサルタント業務）</p> <p>・見島については離島ということで、なかなか競争原理が働かない状況が見られることから、継続的に見ていきたい。</p> <p>・今回受注した業者の評価点で、企業の信頼性・社会性・その他の値が低いようだが、何か状況が悪くて評価が減点されているということか。</p> <p>【一般競争入札】 《善通寺（26）宿舎改修等建築 工事》 《1術校（26）宿舎改修等建築 工事》</p> <p>・同じ宿舎の改修等建築工事であるが、善通寺は4者応札しているが、1術校については1者応札となっている。同様の工事</p>	<p>行を期待できる。</p> <p>・必ずしも受注できるということではない。今回の建築工事であれば、10工区ずつ2グループで発注しているところであり、仮に1グループに10者しか参加しなければそのようなこともあるが、20者参加すれば10者は受注できないこととなる。 第1グループを例にすると、グループ全体の参加者は13者、全ての工区に入札参加していない者や辞退した者もいるが、最終的には3者は落札できなかった。</p> <p>・そうである。</p> <p>・できない。工事に専念し確実な施工を実施する体制の構築を求めため、1つの公告に配置できる予定技術者は、技術提案を熟知し確実に履行できる同一の技術者1名としている。</p> <p>・同一グループ内においても工事1件毎にそれぞれ別々の案件として札入れを行うが、札入れの時期はグループ毎に同日に行う。</p> <p>・承知した。</p> <p>・評価点については加点方式になっており、今回は地元企業を利用する関連の評価項目において、地元企業の採用の申し出がなかったためである。</p> <p>・海上自衛隊第1術科学校は江田島市に所在しており、広島市からのアクセスはフェリーを利用するか、又は陸路であれば約2時間程</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>でこのような状況となった理由は何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・善通寺の案件で2者が無効となっている理由は何か。 <p>○建設コンサルタント業務 【一般競争入札】 《岩国飛行場（H26）防衛施設整備（コミュニティ地区）統合監理業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回、統合監理業務として「コミュニティ地区」のほか、「運用地区」、「愛宕山地区」とあるが、どれも1者応札となっていることから、競争原理が働かない理由があるのかどうか確認したい。 <p>【一般競争入札】 《出雲（26）建築その他工事監理業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本業務のほか、防府南及び山口の建築その他工事監理業務については3者入札となっているが、設備工事監理業務については出雲も呉も1者入札となっているのはなぜか。 ・管内で5者とは少ないのではないか。 ・「Bランク」に拡大した場合、質の低下が懸念されるのではないか。 	<p>度かかることから敬遠されたのではないかと思われる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工体制確認型総合評価方式の入札であり、無効となった2者については入札金額が調査基準価格以下であったため、施工体制確認のための書類の提出を求めたが、応じなかったため、無効となったものである。 <ul style="list-style-type: none"> ・現在岩国基地は工事のピークを迎え、現場は大規模かつ複雑な調整が必要となっており、本業務を円滑に実施するに当たっては過去の経緯、経験及びノウハウがある程度必要となってくるため、新規の業者はこの点を懸念して敬遠しているのではないかと思われる。 また、本業務は10人程度の技術者を求めているため、その人材が確保できるかどうかという点も含め、入札を敬遠しているものと思われる。 <ul style="list-style-type: none"> ・当局管内で入札参加している「Aランク」の設備設計事務所は4～5者くらいだが、技術者の不足から、岩国などの大規模な監理業務については参加してくれるが、出雲のような小規模な監理業務については技術者を貼り付ける事はなかなか難しいようである。 <p>このような状況を解消するため、現在「Aランク」として発注しているところを「Bランク以上」に拡大し、より競争性を高める事を検討している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模な事案であれば質の低下が懸念されるが、そうでなければ、「Bランク」でも対応可能であると考えている。

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【報告事項】 ○低入札事案について（1件） ○不調事案について（1件） ○指名停止等の措置状況について（5件）	なし。 なし。 なし。
○委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

2. 談合疑義案件の処理状況について			
談合疑義件数	0件	(審議概要) なし	
工 事	談合情報		0件
	点検結果疑義		0件
業 務	談合情報		0件
	点検結果疑義		0件
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	なし	なし	
○委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし		

3. 入札結果の事後的・分析結果について		
審 議 概 要	なし	
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意 見 ・ 質 問	回 答
	なし	なし
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし	

4. 再苦情処理（再説明請求回数）					
再苦情申立件数 (再説明請求件数)		総件数	0 件	(備考) なし	
建 設 工 事	一般競争（政府調達協定対象外）		0 件		
	公募型指名競争		0 件		
	指名競争		0 件		
	随意契約		0 件		
建設コンサルタント業務等			0 件		
再苦情申立概要 (再説明請求概要)		申立日	件 名	契約方式	内容等
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等		意 見 ・ 質 問		回 答	
なし		なし		なし	
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容		なし			

II 契約実施機関が締結する契約（地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。）に関する審議

契約実施機関：航空自衛隊

審議対象期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日	
審議対象件数	3,038件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	5件	(審議概要)
一般競争	5件	
指名競争	0件	
随意契約	0件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【抽出案件】 （一般競争契約 1者応札） ①《重油外》 航空教育隊 落札率98.62%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本件の他、3件の「重油外」があるが、契約相手方はいずれも同じ会社である。競業他者はいないのか、地元優遇か確認する。 ・ほかに入札参加する業者はいないのか。 ・ほかに営業している者はいないのか。 ・金額がかなり高いと思うが、これは輸送コストがかなり掛かるということか。 ・荷姿について説明してもらいたい。 ・フェリー等から直接燃料を入れるのか。 ・ローリー車はフェリー等で運搬してくるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・承知した。 ・見島分屯基地は萩市の離島に所在しており、広く公告を出し周知しているが、落札業者しか参加してこないのが実情である。 公告は、萩市の外に山口市、防府市、周南市に掲載している。 ・萩市の本土であれば複数業者はいるが、島内には落札業者しかない。 ・そのように捉えている。 ・「自隊ドラム」は、官側が所有するドラム缶を業者へ渡し、それに燃料を詰めて納入するもの。「新缶ドラム」は業者がドラム缶を作成し、それに燃料を詰めて納入するもの。「バルク」は業者が、ローリー等で分屯基地の燃料タンクへ直接納入するものである。 ・フェリーで運搬した燃料を業者が車両で基地まで運搬する。 ・落札業者は島内に車両を保有している。

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に納入するものなのか。 ・予定価格はどのように積算しているのか。 ・ガソリンは一般の販売価格も値段は高いのか。 ・予定価格より高いことはあるか。 ・参入業者はずっと1者のみか。 ・萩市には見島以外にも離島がいくつか存在し、人が住んでいるが、そこも落札業者が納めているのか。 <p>②《食器洗淨及び清掃作業等》 (No. 24) 航空教育隊 落札率：58.35%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・No. 26も「食器洗淨及び清掃作業等」であるが、この落札率は96.04%と高い。本件落札率の58.35%と大きく違うのは何故か。 ・No. 26の作業員は島に在住している人か。 ・複数者の入札があった競争契約のNo. 3、No. 24、No. 34はどこの役務か。 ・履行期間はどのくらいか。 ・落札業者が変わった場合、雇い主が替わるだけで作業員はそのまま残っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね四半期に一度の頻度で契約している。 ・本土の価格も調査しているが、離島への輸送のコストを考慮している。 ・本土の価格よりも高額である。 ・過去、1回目の入札で落札されず、2回目の入札で落札されたことがある。 ・過去、問い合わせがあったが、離島である事を説明すると入札を見合わせた。 ・外の離島の業者については掌握していない。 <p>・No. 26は履行場所が「見島分屯基地」であるためである。諸経費を考慮して積算しているが、落札率が高い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのとおり。 ・No. 3は美保基地、No. 24は高尾山分屯基地、No. 34は防府北基地。 ・以前、防府南基地は3ヶ月であったが、26年10月から半年にしている。1年契約を検討したが、防府南基地は入隊学生を約1,700名受け入れる時期があり、増減が大きいため、要求元が予定数量を算出できない。そのため半年契約としている。 ・落札業者が作業員と直接交渉していてそのまま雇い入れてるのが一概には言えない。以前の作業員が残る場合もあれば、入れ替わる場合もある。

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・ No. 25、No. 28は防府南基地か。</p> <p>・ 新規業者は地元の業者か。</p> <p>・ 新規業者が入札に参加した場合、なぜ参加したか等の聞き取りは行っているのか。</p> <p>【一般競争契約】</p> <p>①《自動水栓14個以下7品目》 第12飛行教育団 落札率：54.45%</p> <p>・ 落札率が低い。自動水栓とはどのような物か。</p> <p>・ 予定価格の積算根拠は何か。</p> <p>・ 入札参加業者はどこかの業者か。</p> <p>・ 見積金額より入札金額を大幅に下げてきた結果、落札率が低くなったということか。</p> <p>②《レドームの解体等作業》 航空教育隊 落札率：70.13%</p> <p>・ 応札者は2者であるが、作業内容及び契約金額からすれば応札者がもっと多くても良いように思う。作業に特殊性があるのか。</p> <p>・ 解体した後に新しいレーダーを建設するのか。</p> <p>・ 修繕はできないのか。</p> <p>・ 落札業者はどこかの業者か。</p> <p>・ 応札した他の1者はどこかの業者か。</p> <p>・ 集積場所を4カ所設けているが、資材等が大量になるのか。</p>	<p>・ そのとおり。ただし、27年度は新規の業者が入札に参加、落札している。</p> <p>・ 本社は熊本の業者である。全国に支店を持ち展開している。</p> <p>・ 聞き取りは行っていない。</p> <p>・ (画像をダウンロードした紙で説明。)</p> <p>・ カタログ価格の30%引きと業者見積の金額を比較して安値を採用し作成した。</p> <p>・ 3者は防府市、1者は山口市の業者である。</p> <p>・ そのとおり。</p> <p>・ 作業内容としては複雑ではない。ただ、クレーン等を使用し解体していく作業になるので、重機の離島運搬というところで応札者が少ないのではないかと推察される。</p> <p>・ そのとおり。</p> <p>・ できない。</p> <p>・ 福岡県北九州市の業者である。</p> <p>・ 山口県萩市の業者である。</p> <p>・ 大量になる訳ではないが、部隊の事情により、複数に分けないと集積場所を確保できないため4カ所設けている。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見島分屯基地の道路は狭いのか。また、そのことにより作業がしづらくなるのか。 ・解体したあとの廃材の処理はどうなるのか。 ・土台（基礎）部分の解体は防衛局が発注するのか。まとめて発注した方が安くなるのではないか。 ・耐用年数を過ぎている為に更新するのか。 ・メイン・ベース・パネルの素材は何でできているのか。重たい物なのか。 ・実際の工期はどのくらいかかっているのか。 ・クレーン車は本土から運ぶのか。 ・予定価格を積算する際に、島内にクレーン車を持っている業者がいるか調べるのか。 <p>③ 《ベーコン外》 航空教育隊 落札率：94.17%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応札者が多い。他にも本件落札業者が多く落札している。以前からそのような傾向にあるのか。確認していく。 ・発注は148品目あるが、品目毎に入札し、そのうち本件落札業者が59品目落札したということか。 ・入札の流れについて、具体的にどの様に行っているのか。時間は結構かかるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の幅は、大型自動車が1台通るくらいの広さで、すれ違うことができない点で、作業が困難になるのではないかと推測される。 ・今回の契約では解体し、分別して置いておくだけになる。廃材は一時保管し、物品返納処置後、売り払い手続きとなる。 ・装備品関係の工事と地盤の工事に分けられており、土台や基礎の部分にあたるコンクリートは防衛局が受け持つ工事となっているため、別々の発注となっている。 ・レーダー性能のグレードアップによるものである。 ・樹脂でできているのではないかと推察する。また、そこまで重量はないので、重量物運搬とまでいかない。 ・1ヶ月弱である。 ・そのとおり。島内に重機を持っている業者がいない。 ・調査する。今回は、対応できる業者が無かったので重機運搬費を積算している。 <p>・承知した。</p> <p>・そのとおり。</p> <p>・（資料提示）応札できる品目について金額を記入してもらい、品目毎に決定していく。 2～3名で入札の対応をしているが、時間はかかる。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本件落札業者が他にも多く落札していることについてはどう考えているか。 ・本件の落札率の94.17%というのはどのように計算しているのか。 ・落札業者はどこ会社か。 ・規格について、1個1個すべて検品を行っているのか。 ・弁当について、例えばのり弁当といっても種類が色々あるが、どのように検品しているのか。 ・入札に参加した業者において、全く落札できなかったということはあるのか。 ・各種パンの応札業者が、それぞれの品目について1者しかいない。パンの業者は、2者が入札に参加しているが、なぜ各品目毎1者応札になっているのか。 ・パンについては何人分になるのか。 ・入札金額が同価になった場合、どのように抽選を行っているのか。 ・規格表は業者に対して、どのようにして見せているのか。 ・全部の品目について掲載しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合食品卸売業者であり、幅広い品種を仕入れているので、安く提供できるものとする。 ・本件落札業者が落札した59品目について計算している。 ・山口県山陽小野田市である。 ・それぞれの規格に対し、適合しているか1品目毎抽出して検査している。 ・弁当に入れる具材等の種類は、仕様書に細かく記載しており、それに基づき検査している。 ・希にある。 ・種類によっては納品が早朝になるものもあるので、対応できるかできないかの問題及び、各者の生産ラインで製造できるかできないかの問題があるのではないかと推察する。 ・約1,700人分である。 ・抽選用紙を用いて行っている。 ・ホームページに掲載している。 ・そのとおり。

2. 談合疑義案件の処理状況について		
談合疑義件数	0 件	(審議概要) なし。
談合情報	0 件	
点検結果疑義	0 件	
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	なし。	なし。
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし。	

3. 再苦情処理（再説明請求回数）				
再苦情申立件数 (再説明請求件数)	総件数	0 件	(備考) なし。	
一般競争		0 件		
指名競争		0 件		
随意契約		0 件		
再苦情申立概要 (再説明請求概要)	申立日	件 名	契約方式	内容等
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問	回 答		
	なし。	なし。		
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし。			